受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ＳＢＩワールドラップ・セレクトは、2026年８月13日に約款の規定に基づく信託期間の満了に伴い償還いたしました。

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行うことを通じて、インカム収益の確保を重視し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ってまいりました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況及び償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

第10期末（2026年８月13日）	
償還価額	7,595円71銭
純資産総額	471百万円
第10期	
騰落率	△5.0%
分配金（課税前）合計	－円

（注１）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
（注３）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記ＵＲＬにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

ＳＢＩワールドラップ・セレクト

追加型投信／内外／資産複合

償還 交付運用報告書
満期償還

第10期（償還日：2026年８月13日）

作成対象期間（2025年８月14日～2026年８月13日）

SBI Asset Management

ＳＢＩアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1
お問い合わせ先
電話番号 03-6229-0097
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
https://www.sbiam.co.jp/

運用経過

基準価額等の推移

（2025年８月14日～2026年８月13日）



期　　首：　7,996円
期末(償還日)：　7,595円71銭
騰　落　率：　△5.0%（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（課税前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首（2025年８月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。
（注４）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。
（注５）上記騰落率は、小数第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期における基準価額の主な変動要因は、以下の通りとなります。

当ファンドの基準価額に対するプラス要因

・2025年９月から2026年年明けにかけて、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ期待などから先進国株式が堅調に推移したこと
・2026年４月以降、中東の緊張緩和期待を背景に先進国株式が堅調に推移したこと

当ファンドの基準価額に対するマイナス要因

・2026年２月末から３月末にかけて、中東情勢の悪化による原油価格の急騰を受け、インフレ懸念や金利上昇への警戒が高まり、先進国債券が軟調に推移したこと

１万口当たりの費用明細

（2025年８月14日～2026年８月13日）

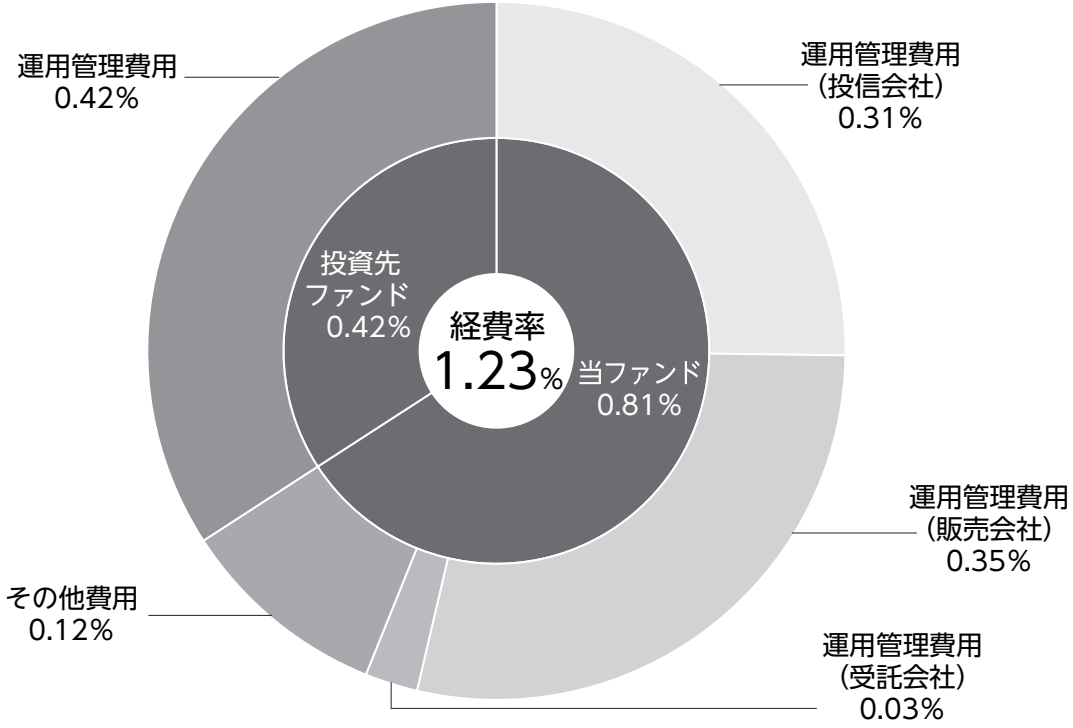
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	55	0.693	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(24)	(0.308)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(28)	(0.352)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	9	0.117	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(5)	(0.062)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(4)	(0.055)	開示資料等の作成・印刷費用等
合計	64	0.810	
期中の平均基準価額は、7,917円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注５）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注６）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.23%です。**



経費率（①+②）	1.23%
①当ファンドの費用の比率	0.81%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.42%

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
（注４）投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2021年８月13日～2026年８月13日）



（注１）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2021年８月13日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。
（注４）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

	2021年８月13日 決算日	2022年８月15日 決算日	2023年８月14日 決算日	2024年８月13日 決算日	2025年８月13日 決算日	2026年８月13日 償還日
基準価額　（円）	10,090	9,184	8,733	8,629	7,996	7,595.71
期間分配金合計（課税前）　（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　（％）	－	△ 9.0	△ 4.9	△ 1.2	△ 7.3	△ 5.0
純資産総額　（百万円）	2,126	1,550	1,211	911	616	471

（注１）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
（注３）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。小数第２位を四捨五入しています。

投資環境

（2025年８月14日～2026年８月13日）

＜世界金融市場＞

当期間中、株式は上昇、国債は軟調に推移しました。

2025年８月～12月、株式については、米中間の貿易摩擦の激化や、米国政府機関の閉鎖長期化による景気見通しへの不透明感の広がりなどから下落する局面もあったものの、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ期待や、実際に利下げが決定されたことなどから先進国株式、新興国株式は上昇基調で推移しました。債券については、主要中央銀行による利下げ期待が広がり、先進国債券の価格は上昇（利回りは低下）しましたが、年末にトランプ大統領の次期FRB議長の人選に対する不確実性や、今後の利下げペースの不透明感が意識され、上昇幅は縮小しました。

2026年１月～８月、株式については、３月に米国・イスラエルとイランの対立が中東地域に広がり、市場が下落しました。その後も中東情勢や米国およびイランの発言に左右されたものの、６月の米国とイランの暫定和平合意が維持され、ホルムズ海峡を通過するタンカー輸送が概ね正常化したことなどから、先進国株式、新興国株式は上昇しました。債券については、年明けはインフレ鈍化や安全資産として買われたことから、主要国債は上昇基調で推移しました。３月には、中東情勢の緊迫化や原油価格の急騰によりインフレおよび金利上昇が予測されたことから、主要国の国債は大幅に売られ、利回りが急上昇し、債券価格は下落しました。その後、原油価格の急落によりインフレ期待が低下したことを受け債券価格が上昇する局面もあったものの、期末のインフレ見通しに対する懸念が再燃し、利回りが上昇したことから、再び下落しました。

＜国内短期金融市場＞

国庫短期証券３ヵ月物の利回りは、期初には0.439％程度の水準で推移していましたが、その後も追加利上げの観測から上昇は続き、期末時点では1.103％程度の水準となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年８月14日～2026年８月13日）

当ファンドは、投資先ファンドであるケイマン籍円建て外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」受益証券（以下「投資先ファンド」といいます）と、「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としています。当期は「投資先ファンド」への投資割合を高位に保ち、「新生 ショートターム・マザーファンド」を一部組入れた運用を行いました。

＜投資先ファンド＞

当期前半は、足もとの堅調な市場環境を受けて、先進国株式、先進国債券のウェイトを引き上げ、現金等のウェイトを引き下げました。2026年２月末から３月にかけては、先進国株式、新興国株式のウェイトを引き下げ、現金等のウェイトを引き上げましたが、６月末にかけて徐々に先進国株式のウェイトを引き上げました。

＜新生 ショートターム・マザーファンド＞

新生 ショートターム・マザーファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れました。組み入れ期間において国庫短期証券等の利回りはプラスで推移しており、当期の基準価額は上昇しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年８月14日～2026年８月13日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

分配金

（2025年８月14日～2026年８月13日）

当期は、信託期間終了（満期償還）のため分配金はありません。

お知らせ

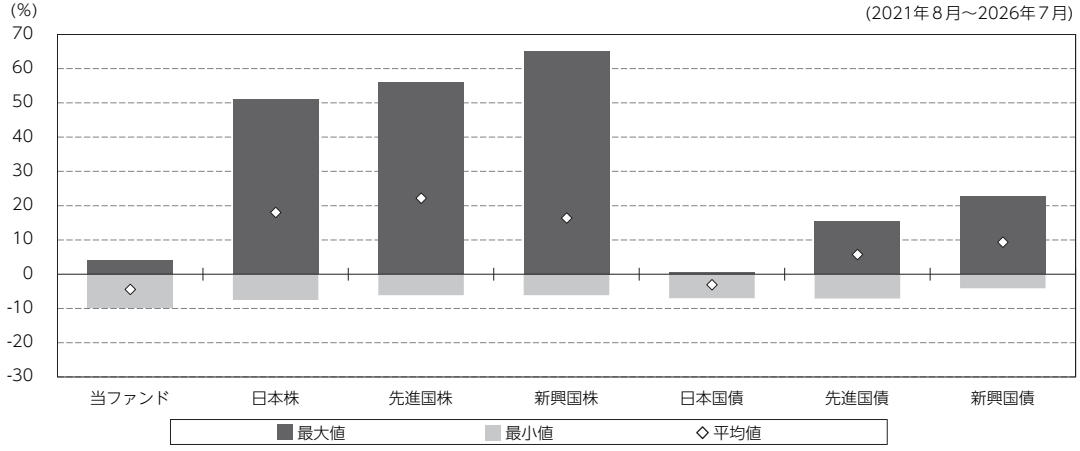
当ファンドは、2026年８月13日に信託を終了（満期償還）しました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	信託期間は約９年８ヵ月（2016年12月16日～2026年８月13日まで） クローズド期間はありません。	
運用方針	当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、インカム収益の確保を重視し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ケイマン籍円建て外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」受益証券	世界の株式・債券・リートおよびコモディティ等へ分散投資を行います。
	証券投資信託「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券	主としてわが国の短期公社債および短期金融商品等に投資します。
運用方法	①ケイマン籍円建て外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」（以下、「投資対象ファンド」といいます。）受益証券及び親投資信託である「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券（金融商品取引法第２条第１項第10号で定めるものをいいます。）を主な投資対象とします。投資先ファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式・債券・リートおよびコモディティ等へ分散投資を行うことにより、信託財産の成長をめざします。 ②投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の対円における為替ヘッジ取引を行います。 ③投資先ファンドへの投資は、原則として、高位を維持することを基本とします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。	
分配方針	①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含む）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、市況動向や基準価額の水準等によって、分配金額が大きく変動することがあり、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ③収益分配に充てずに信託財産内に留保した利益（無分配期の利益を含みます。）については、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	4.1	51.0	55.9	65.1	0.6	15.4	22.7
最小値	△ 9.8	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	△ 4.4	18.0	22.2	16.4	△ 3.1	5.7	9.3

（注１）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）2021年８月から2026年７月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注３）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注４）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日 本 株…Morningstar 日本株式指数
先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）
新興国株…Morningstar 新興国株式指数
日本国債…Morningstar 日本国債指数
先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）
新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

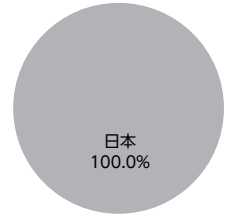
（2026年８月13日現在）

償還日（2026年８月13日）現在、有価証券等の組入はございません。

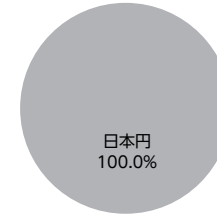
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

純資産等

項　目	第10期末（償還日） 2026年８月13日
純資産総額	471,153,505円
受益権総口数	620,289,232口
１万口当たり償還価額	7,595円71銭

（注）期中における追加設定元本額は 10,546,221 円、同解約元本額は 161,595,251 円です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日 本 株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。